

1 日時・場所

平成 28 年 2 月 15 日（月）14：00～15：10

市役所 5 階第 5 会議室

2 出席者

委員 八ッ橋委員 若菜委員 牛尾委員 松岡委員 池上委員 田中委員
（楠本委員は欠席）

事務局 須藤福祉部長 廣末国保健康課長 西海副主幹 阿部主任

傍聴者 1 人

3 議題

- (1) 逗子市国民健康保険条例の一部改正について（報告）
- (2) 平成 28 年度逗子市国民健康保険事業特別会計予算（案）について
- (3) 平成 27 年度逗子市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について
- (4) その他

4 会議概要

- ・会議成立の報告
- ・資料確認

【議題 1】 逗子市国民健康保険条例の一部改正について事務局より報告

（田中委員）今のご報告について、事務局から事前に電話で聞いておりました、非常に驚いた次第でございます。今事務局から最後にお話がありましたけれども、果たして平成 29 年度に向けてそういう動きがとれるのかどうかということですが、私は悲観的に考えています。というのは、事務局がおっしゃっていましたが、まさに平成 29 年度というのは増税がある年ですから、同じタイミングでそういったことができるのかどうか甚だ心配です。議会で指摘があったということですが、私もまさにそのとおりだと思います。収入が増やせないのであれば支出を減らすしかないわけで、なかなか今の事務局の体制からすると、どこまでできるかというのは難しいところがあるかと思います。ただ、他の市町村もそれなりに努力しているようなことも聞いております。事務局は“国保健康課”ですよね。先日、調べてみましたら、神奈川県下に国保といわゆる健康づくりを一緒の課でやっているところってないんです。ですから、その気になって予算を確保すれば、国保の支出の削減と市民の健康づくりが同時にできる体制でもあるのです。せっかくのこの体制でもありますから、議会でご指摘があったように医療費削減に向けて一步も二歩も踏み込んでいくことが重要だと思います。また、今度平成 30 年度に財政主体が都道府県になるという難しい大改革がございますよね。このタイミングでもどうなるか分かりませんが、難しいところがあるんですね。そうすると 28、29、30 年度は全く何も手につけられない。ただ、30 年度で方式が変わるかもしれませんけどね。私

は議員さんがおっしゃっていることは分からなくもないのですが、必要な負担について市民に理解してもらうという努力が議会あるいは政治の世界でも必要だと思うのです。かつての高度成長期のように、いわば利益の分かち合いみたいな視点から議会が色々なことを判断していくのと、今は時代が全く逆ですから、利益どころか負担の分かち合いをどうしていくかということをもっと議会では議論してほしいと思っています。私は今回の件について非常に残念に思いました。

(会長) それについて事務局何かございますか。

(事務局) 議会からも指摘があったように、やはり歳出をまず抑えなければいけないというのは、田中委員のおっしゃるとおりだと思います。県内でも国保と健康課が一緒になっているところは、確か南足柄市と三浦市だと思いますが、規模の問題もございまして、どうしても人口が少ないところは合理的な手法により、同一の課になっていると思われま。確かに別々の課よりも国保と健康のセクションが一緒になって協力し合いながら業務を進めるほうが合理的です。現在も私たちは協力しあいながら係同士のやりとりを行っておりますが、目に見えた効果が出なかったというのは事務局の努力がまだまだ足りなかつたと反省しております。今後、保険料をどうするのかというのは非常に重要な問題であり、消費税など色々なものが上がっていく中で、果たしてどのような方向にもっていくのかということもこちらでもう少し研究したいと思っています。そのうえで、さらにヒアリング等において議論をして、その結論をもって皆さまにお示しできればと思っております。まずは歳出を抑えるような努力をして、目に見えるような状況をつくっていきたいと考えております。また今後何か提案をすることがございましたら皆さまにお願いしたいと思います。

(会長) 他には何かご意見ございますか。

(池上委員) 我々は昨年保険料の値上げもやむを得ないということで答申書を出したので、議会の否決について責任を感じるころではあります。資料①と資料②を見ますと、資料②の歳入の8項、一般会計繰入金というのが、前年度に比べて34,151,000円増えていますよね。逆に資料①の2款、保険給付費で見ますと、36,088,000円の減になっているんですね。ですから保険給付費が減って、なおかつ繰入金のほうが増えているとなると、プラスマイナスで少し黒字になるのではないのでしょうか。あくまで給付と繰入金だけを見た場合ですが。こういった資料を議会のほうへまた再提出されるのですか。

(事務局) 2月から始まる議会までにはそういう議論する機会がないので、議論をしっかりとした後でどうするかは決めたいと思います。

(池上委員) 値上げをしましよと言っていた28年度の4月からは、値上げなしになったのですね。資料①と②を見た場合に、保険給付費が減っていますし、繰入金は前年度に比べて多いわけですから、何とか値上げしないでも1年間ぐらいはやっていけるのでしょうか。そこのところをお聞きしたいのですが。

(事務局) 池上委員のご指摘のとおり、実際に28年度予算は27年度と比べて若干、金額的に減少しております。この大きな要因は、被保険者が減っているということ、特に退職被保険者が大きく減っているということが挙げられます。それに比べて保険給付費自体は伸びているのですが、その伸び幅は緩やかであり、減少額のほうが大きいため、予算上としては縮小しています。ただ、一般会計の繰入金、いわゆる法定内の繰入金において、

今回保険基盤安定繰入金が 44,000,000 円ほど増額になっているため、全体の一般会計繰入金も増額となっています。その他一般会計繰入金はいわゆる赤字補てんのための法定外の繰入金でして、これは 27 年度と比べると、予算上は若干減少している状況です。ただ、約 370,000,000 万円のこの金額が国民健康保険特別会計の収入枠に含める割合としましては、他市と比べると突出して大きいというところがあります。こちらを減らしていくためには料金改定が必要という説明を既にしてしておりますが、まずは医療費削減の努力をするべきだというご指摘もございましたので、28 年度につきましてはそちらのほうにも力を入れつつ、方向性を確認してまいりたいと考えております。

(池上委員) 医療費削減というのは実は結構難しく、あまり厳しくやると受診抑制ということになって本当に病気の人が医療機関にかかりづらくなってしまいます。例えば国民健康保険の人たちはこれだけの保険料を払っているんだけど、実際にあなた達の医療費はこんなにたくさんかかっているんだということを市民にもっと周知していただかないと追っかけっこになると思うんですよ。最近、逗子市内で新しい先生たちが何人か開業したんですね。一般的に医療機関が増えれば医療費は増えると言われていています。ですから、今年度の決算はまだ出ていませんけれども、何件か新規に開業した影響がどの程度出るかというのが気になります。やはり、市民に対して医療費がいかにかかっているかということを徹底して周知していただくより仕方ないのではないのでしょうか。

(事務局) ご指摘のとおり、医療費の削減は非常に困難を極める課題であり、各市町村の保険者が皆抱えている悩みでございます。医療費の上がり幅をいかに抑制するかということは、どれだけ周知を徹底していくかということに尽きるかと思っておりますので、今後改めて周知を徹底してまいりたいと思っております。

(田中委員) 私たちの被用者保険の世界では、医療費の削減という表現は使わないんですね。それは池上先生がおっしゃるように、全然意図していないことが生まれてしまうからなのです。私たちは医療費の適正化と言っています。私たちが今、力を入れているのは柔道整復師の問題、あるいは重複頻回受診をどうやって防ぐか、それは保険者から本人に直接働きかけないとなりません。受診抑制につながることは逆に避けなければならないと思っていますので、言葉の使い分けをしております。

(会長) 議題 1 について他になれば次の議題に移りたいと思っております。

【議題 2】 平成 28 年度逗子市国民健康保険事業特別会計予算（案）について事務局より説明

(松岡委員) 確認を含めて 2 点ほどあるのですがよろしいでしょうか。1 点目は資料の順序ですが、配布された資料では歳出が先にきて、歳入が後なんですね。通常は、会計の原則からすると歳入が先で、歳出が後じゃないかと思えます。要するにお金がないと支出できないわけですから、歳入が先にきて、歳出が後にくるのではないのでしょうか。予算もそうだし、決算もそうだと思うんですが。私はそのように考えていて、以前よりずっと疑問を感じていたのですが、その点はどのように解釈すればよろしいのでしょうか。

(事務局) 通常、市の一般会計や特別会計の予算でも予算書のつくり上は、歳入予算が最初に来て、歳出予算が後にくるようになっていますが、実は市町村の予算の説明の場合は、まず歳出の説明をしてから、それに見合う財源等の説明をするというのが通例となっております。それに従いまして、本協議会のほうでも毎年予算の説明をさせていただく際

には、まず歳出の説明をさせていただいてから、歳入の説明をさせていただくという関係から、あえて資料上は反対にしているということでございます。

(松岡委員) それが通常であれば、特に問題ありません。次の2つ目の質問なんですが、資料②の歳入の1款1項で、一般被保険者国民健康保険料について平成28年度が1,463,100,000円で、27年度と比べますと-22,500,000円ということですが、これは保険料の算出にあたって使われる算定式というのが27年度と同じであるとしたら、27年度よりも28年度が減っているというのはその原因はなんでしょうか。

(会長) 事務局お願いします。

(事務局) 減となる主な要因としましては、それぞれ一般、退職の被保険者の数が減少するのに伴いまして、保険料収入も減少するという見込みになっております。

(松岡委員) 要するに加入者が減るという見込みで前年度よりも収入が減っているということによろしいのですね。それに関連して歳出で資料①の2款1項1目で一般被保険者療養給付費が28年度は27年度よりも27,000,000円強増えておりますが、今確認したところ、加入者は減っているにもかかわらず、医療費が上がっている。要するに人が減っているのに医療費は増えるということは、どういう要因があるのか説明していただきたいと思います。

(事務局) 実際に加入者は減少しておりますが、医療費が増加していることについて、平成24年度後半からの医療費の急激な伸びほど、26年度、27年度は増えてはいないのですが、医療費は増え続ける傾向にあります。こちらの原因につきましてKDBシステムというもので分析をしておりますが、やはり一度生活習慣病、糖尿病、腎不全等の高額に医療費がかかる病気にかかりますと医療費が高止まりで推移していくことになります。新たな国民健康保険の加入者の医療費は減少していますが、すでに加入している高齢者の高い医療費が継続されている関係で、医療費の増加を継続させているのではないかと考えております。

(会長) 松岡委員いかがでしょうか。

(松岡委員) 分かりました。私も新聞報道など見ると、この4月から診療報酬の改定があって、全体では少しプラスになるとか、高度先進医療が多くなっているとか、医療費をめぐる動きは上昇傾向にあるというのは理解しております。先ほど申し上げたように加入者が減って全体の医療費が上がったことは、そういった上昇分でプラスに転じているのかもしれない。これはあくまで予算ですから、実際に決算を迎えたらもっと下がるかもしれない。現状ではそういうことで予算を組んだということですね。

(事務局) 松岡委員が言われたように、全体の被保険者は減っているのですが、どうしても65歳以上の方がやはり多くなってくるので、そのバランスで実質的にこういう予算組みになってしまったのですけれども。

(田中委員) 先ほど議会で否決された時の報告でありましたように、医療費の適正化を進めたいというお話ですけれども、具体的にはこの歳出予算の保険給付費、あるいは保健事業費の中に何か反映されているのですか。

(事務局) 医療費適正化の取り組みにかかる予算としましては、8款の保健事業費の中の保健普及費において、ジェネリック医薬品の周知に係る経費や健康増進系の保健事業の経費等を計上しております。

(田中委員) 27年度に比べて、むしろ予算が若干ですが減っていますが大丈夫ですか。

(事務局) 確かに8款の1項の特定健診・特定保健指導費が若干減っている部分がございます。

これは先ほど28年度の特定健診の受診者が4,000名という話をさせていただいたのですが、昨年度までは4,100名の見込みで予算を計上しておりました。実際、受診者はここ3-4年は3,800名ほどで推移してきております。予算上は4,000名で計上しておりますが、受診者が減るという見込みではございません。むしろ増えていっても対応できるように予算組みをしております。

(田中委員) 分かりました。ありがとうございます。

(会長) 他にございますか。

(若菜委員) 単純な質問ですが、28年度の予算として当初予算比較をしているのですが、実際には27年度の最終予算額に対比して、28年度はどういう予算にするのかではないのでしょうか。私は企業に従事していた経験から、事業計画を考えた時にそういう方法をとるのだと思うのですが。27年度の最終予算額に対して28年度はどうなるんだろうという予測をするのが一般的な考えだと思うのですが、ここでは当初予算比較で28年度を計画しているんですけどそのあたりの違いは何ですか。

(事務局) 確かにご指摘のとおり、前年度の補正後のいわゆる決算見込みをベースに本来次年度の予算というのは作成されるべきものではあるのですが、市の最終的な決算が出るのは27年度で言いますと、28年の5月末です。通常4月から新年度になるのですが、市は出納整理期間が4月、5月と2ヶ月ありまして、最終的な決算は5月末時点であり、それがまとまるのは実際7月くらいです。そのあたりに国・県の補助金なども含めた決算が出てくる関係もございまして、なかなか決算の状況を踏まえて予算を組むというのが難しい状況でございます。次年度予算を作る際には、当該年度の直近までの執行状況を踏まえて予算を作成するようにはしております。

(会長) 他にご質疑等なければ皆さまのご了承を得られたということでよろしいでしょうか。

(委員一同) 異議ありません。

(会長) それでは続きまして、議題3の平成27年度逗子市国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について事務局お願いします。

【議題3】平成27年度逗子市国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について事務局より説明

(池上委員) 2款の4項1目、出産育児一時金は31,500,000円で補正もないということは、見込みどおりの出産数だったのでしょうか。増えてないのでしょうか。

(事務局) 当初計上していた金額でまかなえる予定です。増えてはいないという現状です。

(池上委員) さみしいですね。もう1つ質問ですが、特定健康診査及び特定健診も増減なしで当初予算どおりということなのですが、実際健康診査をやってみて感じるのですが、今年になって胃がんリスク検診が増えています。それからがんに対する予防ということで、大腸がん検診を受ける方もかなり増えています。そういう増額分は見込まれているのでしょうか。

(事務局) 胃がんリスク検診を平成27年度から新たに始めましたところ、市の見込みを大幅に上回る受診がありました。ただ、予算は一般会計の成人等保健事業に計上しております。

して、そちらは昨年の第4回定例会の時に増額の補正をさせていただきました。ですから、ご指摘のとおり受診者は増えており、予算も増額をしております。

(田中委員) 池上先生、どうしてそのように胃がんリスク検診が増えているのでしょうか。

(池上委員) 手軽だからでしょうね。結局採血でできる検査ですから、ついでにやりましょうということ。

(会長) アミノインデックスとかですか。

(池上委員) 色々やっています。ペプシノーゲンとかピロリ菌とか。胃がんリスク検診でA1という全く問題がない人は精密検査にならないのですが、A2群よりちょっと異常があるという方の場合は精密検査で内視鏡検査を受けましょうということになるんですね。そうしますと、また医療費が増えるということになるんですよ。これは結局予防的な措置ですから予防して重症化しないうちに芽を摘んでおくということで、将来的に医療費の削減になるので、結構だと思います。

(会長) 先ほど事務局から説明があったように、腎不全とか糖尿病とかそういった大きな病気の医療費がかかるのですよね。他にはよろしいでしょうか。他になければ議題3の平成27年度逗子市国民健康保険事業特別会計補正予算(案)については皆さまのご了承をいただいたものとしてよろしいでしょうか。

(委員一同) 異議ありません。

(会長) それでは続きまして、議題4のその他について事務局お願いします。

【議題4】その他

(事務局) 事務局から2点ございます。平成27年度の運営協議会につきましては、今回で終了となります。次回平成28年度の運営協議会の開催につきましては、28年の7月下旬から8月上旬頃を予定しております。日程の調整につきましては、改めて事務局から連絡させていただきたいと思っております。28年度の議題につきましては、第1回は平成27年度の国民健康保険事業特別会計の歳入歳出決算案についてと、29年度の国保料の改定をするのかしないのかという件についてですが、これは改めて4月の市長ヒアリングで市長と方向性を検討したうえで、29年度予定どおり改定をするということになれば国保料の改定やパブリックコメントの実施についてを議題にしていきたいと思っております。2点目が前回の会議で今回の報酬をお支払いするにあたり、マイナンバーの情報を収集させていただきますと申し上げましたが、現在庁内でマイナンバーの収集方法が確立されていないため、今日収集するということにはございません。庁内でマイナンバーの取扱いについて収集方法が定まりましたら、改めて皆さまにお知らせさせていただきます。新年度について、継続される委員につきましては、おそらくマイナンバーを1度お伺いすればそのまま継続されると思っております。新たに委員が替わるという場合にはその方法を含めてお知らせしたいと思っておりますので、よろしくご承知おきいただければと思います。事務局からは以上でございます。

(会長) その他本日の議題につきまして何かご意見等ございますか。なければ本日の議題は全て終了いたしましたので、閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

閉会